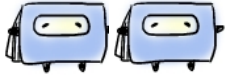


大竹市立図書館ティーンズ便り 第36号

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338



■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
- ・個人貸出 図書1人10冊 (内DVD・CD資料2点)
- ・貸出期間 2週間
- ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間
毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)

ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

こちらのQRコードからも
ホームページにアクセス
できます。



大竹市立図書館には、ティーンズ
コーナーがあるのを知っています
か?ティーンズコーナーでは、テ
ィーンズ向けの本の展示をしてい
ます。春・夏・秋・冬の年4回、
入替えているのでチェックしてみ
てください。

☆『春』(3・4・5月の展示)



テーマは、

部活・ブカツ

です。

文化系、運動系、個性派系。どれにする?

1冊紹介♪

『アスリーツ』 あさの あつこ/著 中央公論新社 [Y913 ア]

中学で陸上を辞めた沙耶は、広島の高校に進学し、射撃部に入部する。未知の競技に戸惑いながらも、親友の花奈とともに励む毎日だったが…。少女たちの喜怒哀楽が渦巻く、心震える青春小説。



新刊案内

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

『嘘をつく』とはどういうことか』

池田 喬吉/著 筑摩書房 [Y158 イ]

嘘をつくとは何をすることが。嘘をつくことはどう悪いのか。それでもなぜ嘘をつくのか。哲学の考えを活用して嘘について考え、笑い、社会、友人、尊重、政治、成長、自分らしさなどまでも相互関連のうちで話題にあげる。

『5分後に意外な結末Q』

桃戸 ハル/著 Gakken [Y913 モ]

5分程度の時間で読めて、ラストにはあっと驚く意外な結末が! パズルの答えと小説の結末が融合した連作短編集。「先入観」について考える」「選抜方法」について考える」など全15編を収録する。

『すばやい澄んだ叫び』

シヴォーン・ダウド/著 東京創元社 [Y933 タ]

1984年。アイルランドの小さな村で孤独な毎日を送る15歳のシェル。幼なじみと深い仲になり妊娠し、周囲に隠しているうちに、思いがけない事態に…。「助けて」と声をあげることができなかった少女の苦難と成長を描く。

【実用書】

- 『SNS時代のメディアリテラシー』 山脇 岳志/著 筑摩書房 [Y361 ヤ]
『どうしても僕は東京藝大に入りたかった』 家原 流太/著 ホビージャパン [376 イ]
『獣医さんがゆく』 浅川 満彦/著 東京大学出版会 [Y649 ア]

【文芸書】

- 『僕たちの青春はちょっとだけ特別』 雨井 湖音/著 東京創元社 [Y913 ア]
『17歳のサリダ』 実石 沙枝子/著 講談社 [Y913 シ]
『短物語』 西尾 維新/著 講談社 [Y913 ニ]
『推しはまだ生きているか』 人間六度/著 集英社 [913 ニ]

新刊コーナーにあるよ。



展示本リスト

『海を覗く』 伊良 刹那/著
新潮社

高校2年の春、同じクラスの北条の「美」の虜になった美術部の速水は、彼をモデルに肖像画を描きはじめた。画板を挟み向き合うふたりは親しくなるが、夏休みのある出来事が速水の心を打ち砕き…。

『帰宅部ボーイズ』
はらだ みずき/著 幻冬舎

真っすぐ家に帰って何が悪い！サッカー部でも、野球部でも、不良でもないオレたちにだって、汗と涙の青春はあるのだ…。帰宅部ボーイズたちのちょっぴり切ないきらめきの日々を綴る青春小説。

『ココロ・ファインダ』
相沢 沙呼/著 光文社

高校の写真部を舞台に、女子高生たちが構えるカメラに写るのは、ともだち、コンプレックス、未来、そしてミステリー。瑞々しい文体とキャラクターが躍動する青春“写真部”物語。

『快晴フライング』
古内 一絵/著 ポプラ社

主将を交通事故で亡くし、顧問から廃部を詰め寄られる弓が丘第一中学水泳部。代表選手の龍一は「水泳部を再建して、メドレーリレーでも大会優勝してみせる」とタンカを切るが、残っていたのはダメダメな部員ばかりで…。

『ぼくたちのアリウープ』
五十嵐 貴久/著 ポプラ社

超名門私立校に奇跡的に合格し、バスケット部に入部届を出したジュンペー。ところが3年生が不祥事を起こし、1年生はジュンペーとツルのふたりだけに。ふたりはメンバー集めに奔走するが…。

『キケン』
有川 浩/著 新潮社

既にサークルの域は出た。活動内容もそうだが、集う人間の危険度が、だ。ヤバイ奴らが巻き起こす熱血青春ドタバタ劇。理系男子って皆こんなに危ないの？

『誰がために鐘を鳴らす』
山本 幸久/著 KADOKAWA

廃校間近の高校に通う錫之助は、ハンドベルの音色に魅せられ、3人の同級生に部の創立を持ちかける。女子高との合同練習を目当てに始まった部活動だが、演奏は意外に面白くて…？

『どうしようもなく辛かったよ』
朝霧 咲/著 講談社

「特別になりたい」と願う中学生の若菜は、バレー部での練習に明け暮れていた。しかし3年生になると、顧問の異動によってチームは大きく動揺してしまう。チームの落ち着きを取り戻すため、若菜は「ある提案」をするのだが…。

『武士道シックスティーン』
菅田 哲也/著 文藝春秋

「ようするにチャンバラダンスなんだよ、お前の剣道は」「兵法がどうたらこうたら。時代錯誤もいいとこだっつーの」柔の早苗と剛の香織はまたとない好敵手。勝負の行方は？痛快・青春エンターテインメント。

『幕が上がる』
平田 オリザ/著 講談社

高校演劇部最後の1年を迎えようとしていたさおり。目指すは地区大会突破。そんな時、新しく学校にやってきた先生が言った。「行こうよ、全国！」男子よりも、勉強よりも大切な日々が幕を開ける…。

『コロヨシ!!』
三崎 亜記/著 角川書店

20XX年、掃除は日本固有のスポーツとして連綿と続きつつも、何らかの理由により統制下におかれていた。高校掃除部を舞台に描く「どこにもない王道」のスポーツ小説！

『南風(みなみ)吹く』
森谷 明子/著 光文社

瀬戸内海に浮かぶ島の高校に通う航太は、ひよんなことから俳句甲子園出場を目指す日向子のメンバー探しを手伝うことになる。必要な人数の5人が揃い、動き始めたある日、航太の祖母が倒れてしまい…

他にもこんな本があります♪

運動部

- * 『ゴーフォワード!』
- * 『空色バウムクーヘン』
- * 『快晴フライング』
- * 『マイナス・ヒーロー』
- * 『ライバル』

花形 みつる/著
吉野 万理子/著
古内 一絵/著
落合 由佳/著
川上 健一/著

ポプラ社
徳間書店
ポプラ社
講談社
PHP 研究所

文化部

- * 『風に恋う』
- * 『この夏の星を見る』
- * 『線は、僕を描く』
- * 『図書館の神様』
- * 『氷菓』

額賀 滯/著
辻村 深月/著
砥上 裕将/著
瀬尾 まいこ/著
米澤 穂信/著

文藝春秋
KADOKAWA
講談社
マガジンハウス
角川書店